

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 アイサンテクノロジー株式会社  
 コード番号 4667 URL <http://www.aisantec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柳澤 哲二  
 (氏名) 加藤 淳

TEL 052 - 950 - 7500

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,729	25.8	94	△3.4	91	△3.4	68	△18.8
26年3月期第3四半期	1,375	37.1	98	—	94	—	84	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 71百万円 (△14.6%) 26年3月期第3四半期 83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	14.91	—
26年3月期第3四半期	18.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,566	1,389	54.0
26年3月期	2,766	1,346	48.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,386百万円 26年3月期 1,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,480	11.3	220	21.4	210	19.2	130	△16.8	28.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	4,699,600 株	26年3月期	4,699,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	92,579 株	26年3月期	92,556 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	4,607,023 株	26年3月期3Q	4,607,044 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びそのご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、住宅着工率の5年ぶりの減少に現れるように消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動や夏場の天候不順に伴う個人消費の停滞、設備投資の落ち込み等を受けた景気回復の遅れが見られました。一方、欧州経済の先行きへの不透明感が強まるとともに、中国経済の減速感と新興国経済の減速への警戒感等もあり、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主力市場であります測量市場におきましては、WindowsXPサポート終了に伴うパソコンの入れ替えに合わせた最新バージョンのソフトウェア導入後の反動等も若干見受けられましたが、国ならびに地方公共団体による公共事業予算の積極的な前倒し執行や、設備投資に係る税制面の優遇政策が実施されたことにより、三次元計測機等新たな計測機を含めた、測量機器を中心とした設備投資実施への流れがうかがえる環境になりました。

こうした状況の中で当社グループは、ライカジオシステムズ株式会社(以下、ライカ)の最新計測機器を組み合わせたシステムソリューションを中心とした営業展開を進めるとともに、本年3月にリリースを予定しております主力製品「Wingシリーズ」の最新バージョン「Wingneo INFINITY Ver. 5」の提案活動を開始致しました。また、政府が進める国土強靱化計画に伴う社会インフラの総点検事業予算執行の進捗を受け、特に道路関係の点検業務に向けた高精度三次元システム(以下、MMS)利活用の有用性が評価された結果、当該業務に係る計測案件が増加するとともに、自動運転システムの実現を目指す産学官の各方面において、その実現に向けた実証実験利用のための高精度三次元地図情報の需要が加速的に伸びてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,729百万円(前年同期比25.8%増)となりましたが、準天頂衛星が2018年に4機体制となり本格的に実用化されること見据え、先行的に高精度位置情報技術をはじめとした当社の成長分野での研究開発活動を積極的に進めたことや、前連結会計年度に見られたWindowsXPサポート終了を間近に控えた外的要因によるソフトウェア販売は当連結会計年度では、ほぼその需要が終了したこと等により営業利益は94百万円(前年同期比3.4%減)となりました。また、前連結会計年度は税務上の繰越欠損金を活用し、法人税等の負担が軽減されましたが、繰越欠損金がほぼ解消し当連結会計年度の税負担が増加したことにより、四半期純利益は68百万円(前年同期比18.8%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間から実施した社内管理体制の見直しにより、報告セグメントを「測量土木関連システム事業」と「不動産賃貸事業」の2区分から、「測地ソリューション事業」、「G空間ソリューション事業」の2区分に変更しております。

報告セグメントに属する主要な製品及びサービスは次の通りであります。

報告セグメント	主要な製品等
測地ソリューション事業	測量土木関連ソフトウェア及び保守サービス、測量計測機器、その他関連ハードウェア 等
G空間ソリューション事業	MMS車両及び関連製品、MMSによる三次元計測・解析業務受託、衛星測位に係るサービス、その他関連ハードウェア 等

セグメント別においては、次の通りであります。

なお、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①測地ソリューション事業

測地ソリューション事業におきましては、主力製品「Wingシリーズ」の現行バージョンである「Wingneo INFINITY Ver. 4」とライカの最新計測機器を組み合わせた、測量の観測業務をさらに効率化する「新しい三次元測量」をキーワードにしたソリューションの営業活動を継続して実施するとともに、本年3月にリリースを予定しております最新バージョン「Wingneo INFINITY Ver. 5」の販売に向けて、導入提案を開始致しました。

以上の結果、測地ソリューション事業の売上高は1,167百万円(前年同期比9.3%増)の結果になりましたが、Wingシリーズをはじめとした測量用ソフトウェアの開発を積極的に実施したことや、マイクロソフトのWindowsXPサポート終了に伴う需要もほぼ終了し、ソフトウェア販売が減少したことから、セグメント利益(営業利益)は248百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

②G空間ソリューション事業

G空間ソリューション事業におきましては、国土強靱化計画に伴う社会インフラの総点検事業の予算執行の進捗により計測受注が増加すると共に、昨年6月から8月に渡り開催しました「アイサンフェア2014」等の展示会においてMMS実機を展示する等、三次元計測に係る技術提案を進め、当社グループが保有する三次元計測技術の普及を進めてまいりました。また、ITS業界に向けては、国立大学法人名古屋大学及び当社グループを中心とした自動運転技術の公道実証実験ワーキンググループであります「アーバンドライブWG」を設立し、自動運転システム技術の確立に向けた様々な実証実験を産学官と連携し進める等、研究開発や実証実験等を積極的に実施してまいりました。

以上の結果、G空間ソリューション事業の売上高は540百万円（前年同期比90.0%増）となるとともに、MMS事業のニーズが拡大したことに伴い、前四半期連結累計期間までのセグメント損失は解消し、セグメント利益(営業利益)は10百万円（前年同期比73.1%増）となりました。

③その他

その他事業の売上高は21百万円（前年同期比1.9%減）となりましたが、セグメント損失(営業損失)は4百万円（前年同期は5百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて200百万円減少し、2,566百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が178百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて244百万円減少し、1,176百万円となりました。その主な要因は未払金が182百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し、1,389百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が41百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953,845	970,955
受取手形及び売掛金	654,751	476,076
商品及び製品	72,772	97,621
仕掛品	49,144	31,034
その他	60,298	57,455
貸倒引当金	△2,600	△2,746
流動資産合計	1,788,211	1,630,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	274,186	290,631
減価償却累計額	△100,621	△106,729
建物及び構築物(純額)	173,564	183,902
土地	341,789	341,789
リース資産	81,950	82,091
減価償却累計額	△20,115	△38,555
リース資産(純額)	61,834	43,535
建設仮勘定	44,365	-
その他	118,320	154,728
減価償却累計額	△42,301	△72,891
その他(純額)	76,019	81,836
有形固定資産合計	697,572	651,065
無形固定資産		
リース資産	1,035	53
その他	90,627	78,263
無形固定資産合計	91,663	78,317
投資その他の資産		
投資有価証券	28,695	32,919
その他	162,323	173,517
貸倒引当金	△1,645	-
投資その他の資産合計	189,373	206,437
固定資産合計	978,610	935,819
資産合計	2,766,822	2,566,217

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	391,498	385,868
短期借入金	-	37,500
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	59,920
リース債務	38,826	27,123
前受金	137,882	102,220
未払法人税等	15,491	12,648
賞与引当金	17,416	22,518
その他	283,114	124,563
流動負債合計	986,309	792,363
固定負債		
社債	60,000	50,000
リース債務	49,887	35,422
長期借入金	194,320	157,900
退職給付に係る負債	117,332	128,309
繰延税金負債	1,458	2,339
その他	11,411	9,981
固定負債合計	434,410	383,953
負債合計	1,420,720	1,176,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,840	520,840
資本剰余金	559,863	559,863
利益剰余金	273,772	314,815
自己株式	△12,349	△12,373
株主資本合計	1,342,126	1,383,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,609	3,619
その他の包括利益累計額合計	1,609	3,619
少数株主持分	2,366	3,135
純資産合計	1,346,102	1,389,901
負債純資産合計	2,766,822	2,566,217

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,375,220	1,729,858
売上原価	561,758	886,309
売上総利益	813,461	843,548
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	245,349	243,468
退職給付費用	10,559	11,571
その他	459,423	493,744
販売費及び一般管理費合計	715,333	748,784
営業利益	98,128	94,764
営業外収益		
受取利息	997	1,225
消費税差額	518	361
その他	646	900
営業外収益合計	2,163	2,486
営業外費用		
支払利息	5,442	5,413
その他	326	482
営業外費用合計	5,768	5,895
経常利益	94,522	91,355
税金等調整前四半期純利益	94,522	91,355
法人税、住民税及び事業税	9,065	21,900
法人税等合計	9,065	21,900
少数株主損益調整前四半期純利益	85,457	69,454
少数株主利益	859	769
四半期純利益	84,598	68,685



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	85,457	69,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,810	2,010
その他の包括利益合計	△1,810	2,010
四半期包括利益	83,647	71,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,788	70,695
少数株主に係る四半期包括利益	859	769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。